

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	Y.Y.	学部・学科	国際商学部・国際商学科
学年	4	派遣国	台湾
派遣大学	長康大学		
期間	2023年8月27日～2024年6月7日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮					
部屋	4人部屋					
設備	*共同=○ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン		冷暖房	○	冷蔵庫	
滞在費	約（ 0 ）円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	（ 徒歩 ）で、約（ 10 ）分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	35000円	学食、コンビニ、レストラン等
学用品購入費	3000円	文房具等
交通費	3000円	電車・バス代等
交際費	15000円	
その他	5000円	
<b>合計</b>	<b>61000円</b>	

(2) 治安状況・危険地域など

日中・夜間問わず治安は良好。歩道が整備されていないことが多いため、交通量が多いところは特に注意が必要。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学
-------	---------

加入期間	( 10 ) ヶ月間	保険料	( 103930 ) 円
------	------------	-----	--------------

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	( ) ヶ月間	保険料	( ) 円

#### 4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町( <b>桃園</b> )
<p>桃園市は台湾北西部に位置する直轄市であり、市政府所在地は桃園区である。また、桃園国際空港を有するとともに、台湾有数の工業地帯でもあるため、東南アジア出身の外国人労働者が多く居住している地域である。一方で、長康大学は桃園の中心部から遠く離れたところに位置しており、アクセスが容易ではなかったため、留学期間中に桃園の市街地に訪れることはなかった。</p>

### 【学業編】

#### 1. 大学情報

大学	長康大学	所在地	台湾桃園市亀山区文化一路 259 号
最寄空港	桃園国際空港	空港からの距離	27km
空港⇄大学	( MRT Airport Line ) *移動手段		
学生数	約 7000 人	留学生数	約 300 人
学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医学部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医学科</li> <li>・ 漢方医学科</li> <li>・ 理学療法学科/大学院</li> <li>・ 作業療法学科/大学院</li> <li>・ 看護学科/大学院</li> <li>・ 呼吸介護学科</li> <li>・ 生物医学科</li> <li>・ 医学生物技術臨床検査学科</li> <li>・ 医学影像及び放射化学科</li> <li>・ 基礎医学研究所</li> </ul> </li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨床医学研究所</li> <li>・ 医学生物技術研究所</li> <li>・ 天然薬物研究所</li> <li>・ 健康回復科学研究所</li> <li>・ 看護学研究所</li> <li>・ 臨床行動科学研究所</li> <li>・ 伝統漢方医学研究所</li> <li>・ 口腔医学研究所</li>   <li>・ 工学部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電気工学科/大学院</li> <li>・ 機械工学科/大学院</li> <li>・ 化学工業材料工学科/大学院</li> <li>・ 電子工学科/大学院</li> <li>・ 情報工学科/大学院</li> <li>・ 光電工学研究所</li> <li>・ 生体化学医療技術研究所</li> <li>・ 医療機器工学研究所</li> </ul> </li>   <li>・ 管理学部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医務管理学科/大学院</li> <li>・ 情報管理学科/大学院</li> <li>・ 工業デザイン学科/大学院</li> <li>・ 工商業管理学科</li> </ul> </li>   <li>・ 企業管理研究所/EMBA</li>   <li>・ 教養教育センター</li>   <li>・ 教育課程センター</li> </ul>
学部/専攻	工商業管理学科

## 2. 週間スケジュール

①( 8 )月～( 12 )月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		Production and Operation management		Economics	Chinese I Chinese II
午後		Marketing Management	クラブ活動		

②( 2 )月～( 6 )月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		Service Management			
午後		クラブ活動	Operation Management		Data Science

### 3. 履修内容

科目	Production and Operation Management		
履修期間	2023/9-2023/12	単位数	3
授業内容／形態	講義、ケーススタディ		
成績	C		
YCU 振替予定	科目	生産管理論	
	単位数	2	
	担当教員	渡邊 政嘉	

科目	Service Management		
履修期間	2024/2-2024/6	単位数	3
授業内容／形態	講義、ケーススタディ		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	Global Service Management	
	単位数	2	
	担当教員	アフマッド・ザヒル	

科目	Operations Research		
履修期間	2024/2-2024/6	単位数	3
授業内容／形態	講義、問題演習		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目 A）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Data Science		
履修期間	2024/2-2024/6	単位数	3
授業内容／形態	講義、データ分析		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	Topics in Data Analysis	
	単位数	2	
	担当教員	ワン・シャンハオ	

<総括>

- (1) 全体的な感想                      \*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

今回の留学を通じて、経営学に関する知識や知見を広げることができただけでなく、英語力や環境適応力、行動力など様々な面で自分を成長させることができた。また、国籍や人種などを問わず、多くの人々と主体的に関わることで、多文化に対する理解を深めるとともに自分のこれまでの価値観を見つめなおすきっかけとなった。留学前は海外の方々に関わる機会が限定的であり、自分から話しかけることもあまりなかった。しかし、バックグラウンドの異なる多くの方々に関わっていく中で、新たな価値観や考え方、文化の違いなどに触れる面白さを実感することができ、徐々に積極的に交流を楽しむようになっていった。また、留学当初は事務の手違いなども含め様々なトラブルがあったものの、周りからのサポートもあり、充実した日々を送ることができた。自分がコントロールできない範囲で予期せぬ出来事が起きた場合でもただ慌てたり嘆くだけでは

物事は好転しないため、原因や責任の所在を明らかにしたり、自分の主張をはっきりさせることで、冷静に問題解決に注力することが大切であると感じさせられた。一方で、起きてしまったことは仕方ないと諦めて切り替える気持ちも時には有効であると実感した。留学生活全体を通して、行動力がより高まったと考える。留学生活ではこれまでにないような様々な経験をする機会があるが、周りに流されているだけでは自分のやりたいことを実現できないと考え、積極的に行動できたのでよかった。積極的に興味のあることに経験したり、交友関係を広げることでこれまでには想像することもなかった新たな自分を発見することができた。このように 10 か月間の留学でより外向的になることができたと感じる。元々新たな環境への挑戦は好きであったが、これまで以上に新たな世界への興味が強くなった。今後もコンフォートゾーンに囚われることなく、気になったことに対して積極的に挑戦していき、自分の可能性を広げていきたい。

(2) 今後の展望 \*この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

グローバル化が進んでいる現代社会において、仕事内外で海外の方々と関わる機会が増えていくと思われる。そこで、円滑なコミュニケーションから協働を可能にするためには語学力に加えて、柔軟な思考力による異文化理解が重要であると考え。人種や国籍などの枠組みにとらわれず多様な人々と意見交換や議論、共同作業などを通じて絶えず新たな価値観や考え方に触れることで、自身の狭い常識にとらわれずより普遍的な視点から物事を捉えることができるようにしたい。さらに、他者との比較により自己を見つめなおすことで、自分が譲ることのできない価値観を明らかにし、それを軸にして今後のキャリア設計の支えにしていく。また、将来的に海外で働くことも視野に入れているので上記の能力に加えて、海外でも通用する自分の強みとして専門性を磨いていきたい。このように専門性と語学力、そして異文化理解力の 3つの分野から能力を伸ばしていくことで、周りからの差別化を図って海外企業からも求められる人材となることを目指していく。

(3) 後輩へのアドバイス \*留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

本プログラムを希望する方は、英語のほかに中国語をある程度勉強しておくといいと思います。中国語レベルは選考には関係ないと思いますが、中国語でコミュニケーションを図れるレベルにしておくことで現地の学生とすぐに仲良くなれたり、日常生活でのトラブルにもスムーズに対処できたりすると思います。また、円安に加えて、留学決定後に財政面で不測の事態が生じる可能性もあるため、生活費などを多めに積み重ね、留学前から計画的に貯蓄しておくことで経済的な余裕を持つことも重要です。留学時に英語

で履修できる授業は限られているため、留学までになるべく多くの単位を取得しておくか、中国語を授業についていけるレベルまで伸ばしておくといでしょう。しかしながら、どんなに入念に準備を進めていても不測の事態が起こったり、思うような結果が得られなかったりすることもあるでしょう。そのような状況下でも周りの協力を得たり、自分の意見を主張するなどして冷静に対処していくことが大切です。自分次第でいくらかでも充実した留学生活を送ることができるので、困難があっても自分の目的を思い出しがんばってください。